

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画改定方針について

1. 現行計画について

- （第 5 次）一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
 - ・ 廃棄物処理法第 6 条第 1 項に規定される法定計画
 - ・ 策定時期：平成 23 年 3 月
 - ・ 計画期間：平成 23～33 年度（11 年間）
 - ・ 基本理念：未来へつなぐ“循環型都市よこすか”の創造
 - ・ 基本方針：第 1 発生抑制（リデュース）、第 2 再使用（リユース）、
第 3 再生利用（リサイクル）、第 4 熱回収（サーマルリサイクル）、
第 5 適正処分
 - ・ 改定手続：平成 21 年 10 月 廃棄物減量等推進審議会に諮問
平成 21 年 12 月～22 年 12 月 審議（6 回）
平成 22 年 11 月 パブリックコメント手続き
平成 23 年 1 月 審議会答申 ⇒ 計画決定

2. 改定の必要性

- (1) 国の「ごみ処理基本計画策定指針」では、おおむね 5 年毎の改定が適切とされている。
- (2) 「新ごみ処理施設整備基本計画」（平成 23 年 8 月）および「横須賀ごみ処理施設整備実施計画」（平成 25 年 3 月）に基づく横須賀ごみ処理施設の整備や、新しいごみ処理体制を計画に反映させる。
- (3) 「第 3 次循環型社会形成推進基本計画」や小型家電リサイクル法施行など、廃棄物処理施策に関する国の動向に対応する。
- (4) 横須賀市の将来推計人口（平成 26 年 5 月推計）や近年のごみ処理量の推移から目標年度（平成 33 年度）のごみ処理量の推計を行い、必要に応じて目標値の見直しを検討する。

3. 改定にあたっての考え方

- (1) 改定時期は平成 29 年 3 月、計画期間は平成 29～33 年度の 5 年間とし、基本理念・基本方針は現行計画を継承する。
- (2) 重点施策および減量化・資源化策についてもその考え方を継承し、施策目標の達成を目指す。
- (3) 目標年度（平成 33 年度）のごみ処理量は、平成 27 年度実績を基準とし、平成 26 年 5 月推計の人口逡減率や減量化・資源化策の効果を反映して推計するほか、新たに 1 人 1 日当たりごみ量の減量目標の設定を検討する。
- (4) 廃プラスチック製品等の分別区分を不燃ごみから燃せるごみに変更するなど、横須賀ごみ処理施設の稼働に伴うごみ処理体制の変更点を具体的に示す。

4. 計画改定スケジュール

- (1) 平成 27 年 10 月 20 日
 - ・ 計画改定を諮問
 - ・ 計画改定方針について
 - ・ ごみ処理基本計画の進行管理（平成 26 年度ごみ処理実績）

- (2) 平成 28 年 1 月 審議 ①
 - ・ 「第 1 章 基本理念・方針」（素案）の審議
 - ・ 「第 2 章 現状と課題」（素案）の審議

- (3) 平成 28 年 6 月 審議 ② ※
 - ・ 「第 3 章 ごみの発生量・処理量の見込み」（素案）の審議
 - ・ 「第 4 章 ごみの発生・排出抑制のための方策」（素案）の審議

- (4) 平成 28 年 8 月 審議 ③ ※
 - ・ 「第 5 章 分別収集区分と資源化・適正処理」（素案）の審議
 - ・ 「第 6 章 その他ごみ処理に関し必要な事項」（素案）の審議

- (5) 平成 28 年 10 月 審議 ④
 - ・ 計画素案（パブコメ案）の審議、確定
 - ・ 今後のスケジュール確認

- (6) 平成 28 年 11 月 パブリックコメント手続き

- (7) 平成 28 年 12 月 審議 ⑤
 - ・ パブコメ意見への対応について
 - ・ 計画案の最終調整

- (8) 平成 29 年 1 月 答申 ⇒ 行政計画決定

- (9) 平成 29 年 3 月改定

※ 平成 28 年度の審議内容は、順番を変更する場合があります。

5. 実績と目標値について

現行計画の目標値（平成 33 年度）は、平成 21 年度実績を基準として設定しているが、直近の平成 26 年度実績と比較すると、ごみ排出量は大きく減少して目標値を下回っているが、増やす目標とした資源化量（おもに集団資源回収）も減少し、資源化率について目標との差が大きくなっている。

平成 26 年度実績と平成 33 年度目標値の比較

	H21 年度 実績	H26 年度 実績 (b)	H33 年度 目標値 (a)	目標値比較 (a)-(b)
発生・排出量 (うち集団資源回収)	158,746 トン (30,604 トン)	141,544 トン (25,918 トン)	144,000 トン (31,200 トン)	2,456 トン (5,282 トン)
焼却量	104,760 トン	95,041 トン	89,300 トン	△5,741 トン
埋立量	6,053 トン	5,436 トン	2,400 トン	△3,036 トン
資源化量	56,929 トン	47,405 トン	60,000 トン	12,595 トン
資源化率	35.9%	33.5%	42%	8.5 ポイント